

医師と考える

# 脊椎固定術のコツ

～固定術の器械出しが好きになる～



手術看護(器械出し看護)は清潔野という限られた場で実践が繰り返されることから、知識や技術を他者と共有する機会が少ないという特徴があります。脊椎固定術においては、器械出しを苦手とする声も多く聞かれるため、さまざまな施設の先生方と脊椎固定術についてディスカッションをすることにより、明日から使える知識を習得していただける情報交換会としたいと考えております。

開催日時

2023年6月10日(土) 14:00～16:00

参加費

無料

開催場所

Zoom(オンライン)

※当日参加できなかった場合も、後日動画配信いたします。お気軽にお申し込みください。アーカイブ配信は3週間後程度を予定しております。

登壇者

【講師】

山口大学大学院  
医学系研究科  
整形外科学 准教授

鈴木秀典 先生

【ファシリテーター】

慶應義塾大学病院  
整形外科学教室  
講師

小林秀 先生

【パネリスト】

医療法人 全医会  
あいせぼね病院  
手術室 主任

棚橋嶺 先生

【パネリスト】

独立行政法人労働者健康安全機構  
総合せき損センター  
手術室看護師

永松和高 先生



プログラム内容

- ◆脊椎固定術の流れ
- ◆器械出しのポイント、清潔を守るコツ
- ◆特殊器械の特徴、整理のコツ
- ◆医師が器械出しに求めるポイント

お申し込み方法

- ① URLもしくは二次元コードから特設ページにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。  
申し込み締切日 6月9日(金) 特設ページ <https://www.hogy.co.jp/seminar/index.html>
- ② ご登録いただいたメールアドレスへご視聴いただく配信URLをお送りいたします。
- ③ 当日は配信URLに接続のうえ、オンラインでご視聴ください。

- ◆メールアドレスの設定により、メールが届かない場合がございます。その際は、迷惑メール設定等のご確認をお願いいたします。
- ◆当日までにURLが届かない場合やセミナーにアクセスできない場合がございます。下記電話番号へご連絡ください。  
HOGYオンラインセミナー事務局TEL:03-6229-1324
- ◆セミナー終了後にアンケートに回答いただいた方へ当日資料(一部抜粋)やセミナー内のご質問と回答を配信させていただきます。
- ◆当日参加できなかった場合も後日動画配信いたしますので、お気軽にお申し込みください。



・本オンラインセミナーは医療従事者の方を対象としております。一般の方のお申し込みは、ご遠慮ください。  
・同業者の方からの申し込みはお断りする場合がございます。

医療の現場に、未来に、安全を

**HOGY**<sup>®</sup>

主催：株式会社ホギメディカル

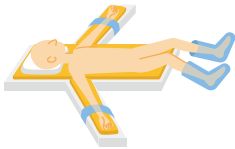
# 術中も患者からの情報を

# 正確に把握し看護ケアにつなげるために

## ドレープ下の患者の観察はどのようにしていますか？

体位を原因とした合併症で最も多いのは末梢神経障害である※

※術中体位による合併症—末梢神経障害を中心に— 日本臨床麻酔学会 第35回教育講演、日臨麻会誌vol.37no.2,201-209,2017 西山純一

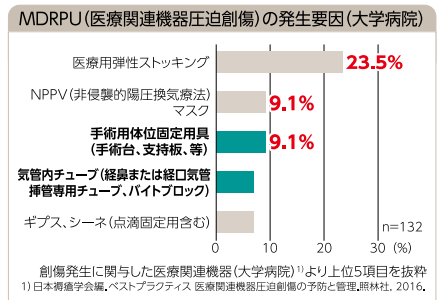


“長時間の血流障害”により起こるコンパートメント症候群にも注意が必要です。

碎石位・頭低位・チルト等はウェルレッグコンパートメント症候群、関節の過伸展過屈曲による神経障害のリスク要因です。



手術用体位固定用具はMDRPUの発生要因の上位に。



## 患者を見て見る安全のポイント



### 見るポイント① ドレープ下の医療機器観察

温風型加温装置の作動やズレの確認、コード類やラインの位置を術中に観察可能で、確実な保温やMDRPUの予防につながります。

### 見るポイント② 術中の四肢運動

ドレープ下で行う体位変換時の体位修正、褥瘡・神経障害・コンパートメント症候群予防のための四肢運動も、透明部分から光が入るため、より確実に固定や観察が可能です。



### 見るポイント③ 透明スクリーン

透明スクリーンで麻酔科の観察が可能に。

### 見るポイント④ 術中の四肢観察

四肢の落下や固定のズレの早期発見につながります。

### 見るポイント⑤ 術者足元の操作

フットスイッチが見やすくなっています。尿量測定も、より行いやすくなります。



## “安全な医療”が提供できる手術室へ変革を